

## 「人を・個性を認める」

坂井市立三国中学校 3年 八十嶋 聖来(やそしま せいらい)

私は、生活していくうえで「認める」ことが大事だと思います。ですがそれは、難しいことであり、けっして簡単にできることではありません。それを達成するためにも、まずは私達が「普通」を共通認識し直す必要があると考えます。

みなさんが思う「普通」とは何ですか。「普通の人」とはどのような人のことを言うのでしょうか。健康で不自由なく暮らすことができる人。自給自足をし努力している人。積極的に人と交流する人。大勢の人はこういうイメージをもっていると思います。いわゆる世間が認識している「普通」とは、あたり前のこと、行動ができている人のことを指すということになります。しかし、その「普通」に対し不満をもっていたり、あるいはその言葉に縛られ生きにくい生活を過ごしたりしている人達もいます。その人達のために私達は何ができるのでしょうか。

「あの子、普通じゃない。」

周りが発した支援学級の子に向けた言葉でした。少し発達が遅れていて勉強があまり得意ではないため、他の人とは少し違う部分があるかもしれません。人とちがうからといって陰口をたたく場面、色々なところで見かけます。それを、私は許せません。周りと同じがう部分は、その人自身の個性があふれている部分だと私は思います。難しいことがあってもあきらめず前向きに生き続けていることに対し、とても尊敬します。

「普通に学校きてね。」

「普通の人になろう。」

私が小学生のころ、先生が不登校ぎみの友達に発していた言葉でした。

「普通ってなに、行きたくても行けないのに。」

友達は私に相談してくれましたが、当時の私はよく理解できず曖昧な返答をしてしまいました。今、ふりかえれば友達は、「普通」という言葉により余計「あたり前の行動すらできないのか」と言われているように身にしみて感じ、追いつめられていた状態だったのではないかと思います。「普通」という言葉の重みを実感しました。相手を不快にさせないためにも、言葉の意味や、相手がどう捉えるかを考え発言しようと思います。

「普通」には、問題視されている差別との関係もあります。

「自分は他の人とちがう。普通じゃない。」

「あの子は周りと同じがう。普通じゃない。」

いじめや自殺などの原因にもなります。人々が生きやすい世の中にしていくためにも、相手を気遣い、言葉を大切にすることが大事になると思います。

これらの話すべてが「普通ではなくても個性として認める」ことを意識し、普通の価値観を理解することで、他人とはちがうめずらしい個性をもっている人達が不快な気持ちにならず、誰もが生きやすい世の中になると思います。子供の私達がそういう人達のためにできることは、やはり「人を認める」ことにたどりつくと思います。容姿やその人の癖を理解せず、陰口を言う。それは、完璧になくなることは不可能だと思うけれど、一人一人が相手を気遣い誰もが過ごしやすい生活ができるよう、少しでも考えて行動してほしいと思います。

また、「苦手な分野のまちがった問題を解き直し理解することで得意な分野にする」ように、「人とちがう部分を見つめ直す・理解して自分の良さにする」などのことも誰もが生活しやすい世の中にする一つの道だと思います。

世界は、たくさんの個性の持ち主であふれています。人々に求められていることは、「普通」の理解から成ることがほとんどです。相手を認めることは自分自身を認める、見つめ直す一つの方法です。私達ができることがたとえ小さいことだとしても、「塵も積もれば山となる」のように環境をかえるきっかけになります。人と違う部分は個性です。それを批判するのではなく理解して相手を思いやることも今の社会に必要なだと思います。今の社会をかえるのは私たちです。そのため、今の私は人を、個性を認めます。